８－Ｎｏ．１９
令和８年 11 月 20 日
茨城県水産試験場

水　産　の　窓

令和８年のイセエビ漁業について

１　令和８年のイセエビ漁獲量と CPUE

図１に茨城県におけるイセエビ漁獲量をまとめました。令和８年９月までの漁獲量は 61 トンで、前年（59 トン）をわずかに上回りました。１日１隻当たり漁獲量（CPUE）は 34.9 kg/隻・日で過去最高となっており（図２）、現時点で資源は維持されていると考えられます。

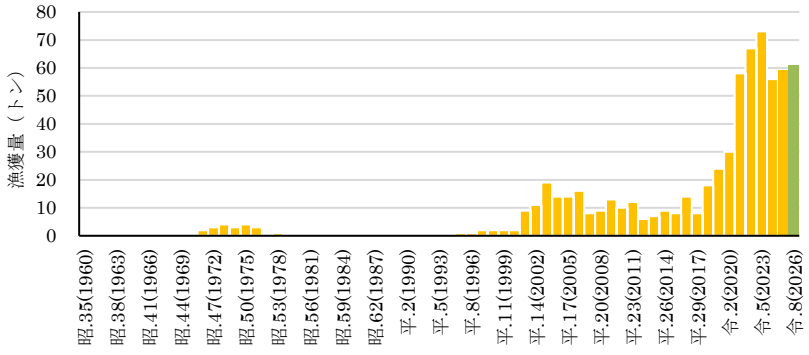


図１　茨城県におけるイセエビ漁獲量の推移
令和６年までは海面漁業生産統計調査（農林水産省）
令和７～８年は茨城県水産試験場漁獲管理情報処理システム

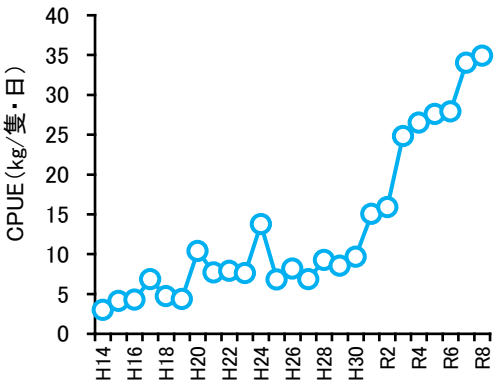


図２　茨城県におけるイセエビ CPUE の推移

２　イセエビの漁獲サイズと成熟度

令和８年の市場調査で測定したイセエビの頭胸甲長（目の後ろから頭胸甲の後端までの長さ）を図３に、雌の成熟度の調査結果を図４に示しました。頭胸甲長は 69-84 mm が主体で、前年・前々年の調査とほぼ同じでした。成熟度については、６月時点では未抱卵個体がほとんどでしたが、７月には未発眼卵を抱卵する個体がほとんどを占め、８月および９月にはほとんどが産卵後の個体となりました。

来年度も引き続き調査を継続する予定ですので、市場調査の際にはご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

（定着性資源部　外山太一郎）

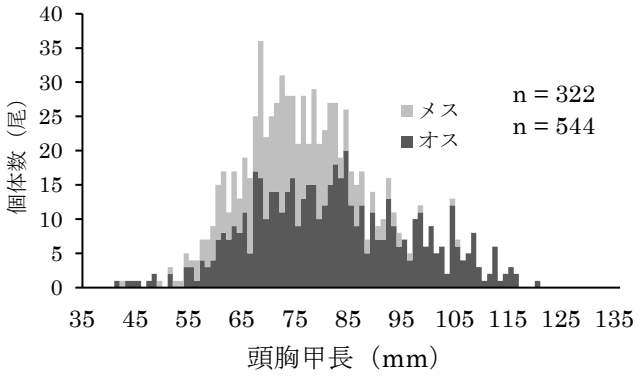


図３　市場調査によるイセエビ頭胸甲長組成

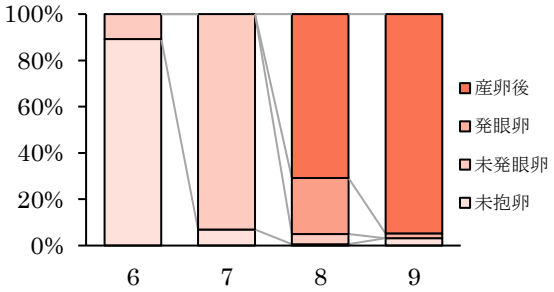


図４　市場調査によるイセエビ月別成熟度



【次回予告】令和８年 11 月 27 日発行の水産の窓は「鹿島灘はまぐりの資源状況」を予定しています。